



# 大竹中学校だより

〒739-0614 広島県大竹市白石一丁目 8-1  
☎(0827)52-5177 Fax(0827)52-5178  
【HP】members.fch.ne.jp/otakejhs/



-いのち輝く学校-

令和4年12月22日(木)

第32号

大竹市立大竹中学校

校長 十亀 琢磨

☆☆「大竹中学校だより」カラー版は、大竹中学校ホームページでご覧いただけます。☆☆

## 2-2 ハートプロジェクト「いきのびる魔法～いじめられている君へ～」

皆さんは、日本における若者の死因で最も多いのが「自殺」であることを知っていますか？その中でも10代の自殺の原因は「学校問題」が最多であり、全体の4割以上を占めているのです。2020年に行われた調査では、「自殺をしたい」と思った人や自殺未遂を経験した時に「誰かに相談したことがある」か尋ねたところ62.2%の人が「誰にも相談していない」ということが分かりました。多くの若者が「死にたい」と悩んでいても、誰にも相談できないでいるのです。そんな時にこんな本を見つけました。

「いきのびる魔法～いじめられている君へ～」

うそをついてください。まず仮病を使おう。そして学校へ行かない勇気を出して。頭が痛いでも何でもいい。そして学校を休もう。うそはあなたを守る大切な魔法。人を傷つけたり盗んだりでなければ親にも先生にもいくら言ってもいいんだよ。大人はみんなそうしてる。私の死んじゃった夫、鴨ちゃんは戦場カメラマンでした。戦場で銃を突きつけられたことが何度もあったけど一番怖かったのは少年兵だって。大人は残酷な兵士であるけれども言えに帰れば優しい父親になる。愛するものや大切なものを知っている。だからそんなに人を殺さない。でも少年兵は子供だから簡単に人を殺してしまう。どうしてかってそれは子供だから。「子供はわからないんだ。愛することや大切なことを」それが戦場なんだと鴨ちゃんは言っていた。でもどんな紛争地でも年間3万人も死んでいません。そんなに多くの人が自殺する国は日本だけです。この国は形を変えた戦場なんです。戦場では子供が人を殺します。ときに、大人より、残酷に。生きのびてください。逃げてください。学校はいじめられてつらい思いをして行くようなところじゃない。長い夏休みだと思って欠席してください。そして16歳まで生き延びて。16歳になれば、高校生になれば、通信制高校、フリースクール、高認試験、たくさんのあなたを自由にする道があり、そして何より働けます。アルバイトができます。お金をもらいながら社会人になる。学校よりもっと大切な訓練が受けられます。自由は有料です。お金をかせぐということは自由を手に入れることです。その先に「ああ生きててよかった」と思える人生が必ず待っています。

最後に2組の感想を発表します。

「『この国は形を変えた戦場なんです』という言葉が心に残りました。言葉の武器で攻撃をして、いじめで自殺をしていく人が多いこの国は確かに戦場みたいだなと思いました。」

「自殺はなぜ起きるのか、なぜそこまで追い詰めるのか、なぜ罪に問われるとわかっていて、いじめを行うのか。それは「逃げる」という選択をできないからなのかなと思った。そして、「逃げる」ということはダメなことじゃないんだなということのを頭にしっかり入れておこうと思いました。」

「学校を休んだら休んだで困ることもあるし、相手の狙い通りになってしまうから悔しいかもしれないけど自殺という手段を取る前にとにかく逃げることも大事だと思った。」

私たち若者一人一人が安心して幸せに生きるための選択肢は沢山あることを知っていてください。



# 発表を聞いての感想の紹介



苦しい時はどうかして解決しないといけないと思う気持ちが自殺につながってしまうから逃げてもいいとわかった。逃げることで楽になったり解決につながることをわかった。逃げることははずかしいことだと思っていたけど、立派な手段だということがわかりました。苦しい時こそ一人で抱え込んだりせず、誰か身近な人に相談してみるのも良いと思いました。そうやって自殺する人がいなくなってほしいと思いました。（1年1組）

いじめられている人は周りの友達にいらなくても、世界のどこかで苦しんでいる人がいると思いました。自分が辛い時は、よくがまんしてしまうけど、がまんせずに頼れる人に相談する、相談が無理なら無理せずに休んで心を休めるということが良いと思いました。いじめられている人の気持ちも「自殺したい」などの気持ちだから、いじめられている人に寄り添ってあげるのもいじめをなくす方法だと思いました。（1年2組）

つらい時はうそをついて学校を休んでもいいんだと安心しました。日本は違う形の戦場だという言葉が心に残りました。学校がつかないのは友達のおかげだと思いました。そんな友達を大切にしたいと思いました。周りが困ったりしないうそはついてもいいことを知りました。不登校の子（もし、いたら）の気持ちを理解し、もし来たら優しくしてあげたいです。（1年3組）

自分を守るためのうそをつくのは悪いことではないし、むしろ良いことだと思うけど、つかないと生きていけない人がたくさんいる今の日本は、たしかに戦場みたいで悲しいです。自分を守る力を身につけたり、周りの人が気にかけてあげたりして、自殺、いじめのない日本になってほしいなと思います。（2年1組）

今の若者は自分から「逃げる」という選択を捨てることが多くて、その時の気持ちだけで、人を傷つけて、後になって「こうなると思わなかった」と後悔する。だからこそ、僕たちは勇気を持って「逃げる」ことができるようにしなくちゃいけないなと思いました。すべてを闇雲に傷つけるのではなく、時に傷つけなくてもいいものを見分けられるようにしていきたいです。（2年2組）

日本の若い人たちは、病気などではなく、口で言ういじめが原因で亡くなっているということがわかりました。生きてくても誰かのその一言によって「死」という決断を選んでしまうんだなと思いました。「うそをつく」ということは、本当はよくないけれど、今のこの発表を聞いて、ついていうそもあることや、何より困った時は誰かに相談していいということが分かったし、とても心に残りました。（2年3組）

「この国は形を変えた戦場なのです」という言葉にハッとした。戦場では、実弾がとび合っているが、いじめでは悪口がとび合っている。違いはこれだけで、たしかにそうだと思いました。ウソをついたとしても相手を傷つけるのではなく、自分の身を守るために使うなら、責めるようなことではないと思いました。（3年1組）

他の国と比べて日本は自殺が多い国だということを知ってびっくりしました。自分の周りにももしかすると自殺したいって思っている人がいるかもしれないから、少しでも「大丈夫？」とか声かけをしてあげようと思います。何かつらくて悩んでいたら、相談することをこれからも意識していこうと思います。いじめを受けてしまうと自分は一人ぼっちだって思ってしまうけど必ず一人は味方がいるので抱え込まないでいたいです。（3年2組）

自殺したいと思うほど追いつめられても、誰にも相談できない、助けを求められない、そういう悪循環が人を殺してしまう。言葉というのは最強の盾にもなれるし、最強の矛にもなれる。盾になればどんな人でも守ることができるし、矛になればどんな人でも殺すことができる。言葉の二つの面を理解し、どちらを選ぶべきなのか分かる人が増えればこの戦争は終わるのだなと思いました。（3年3組）